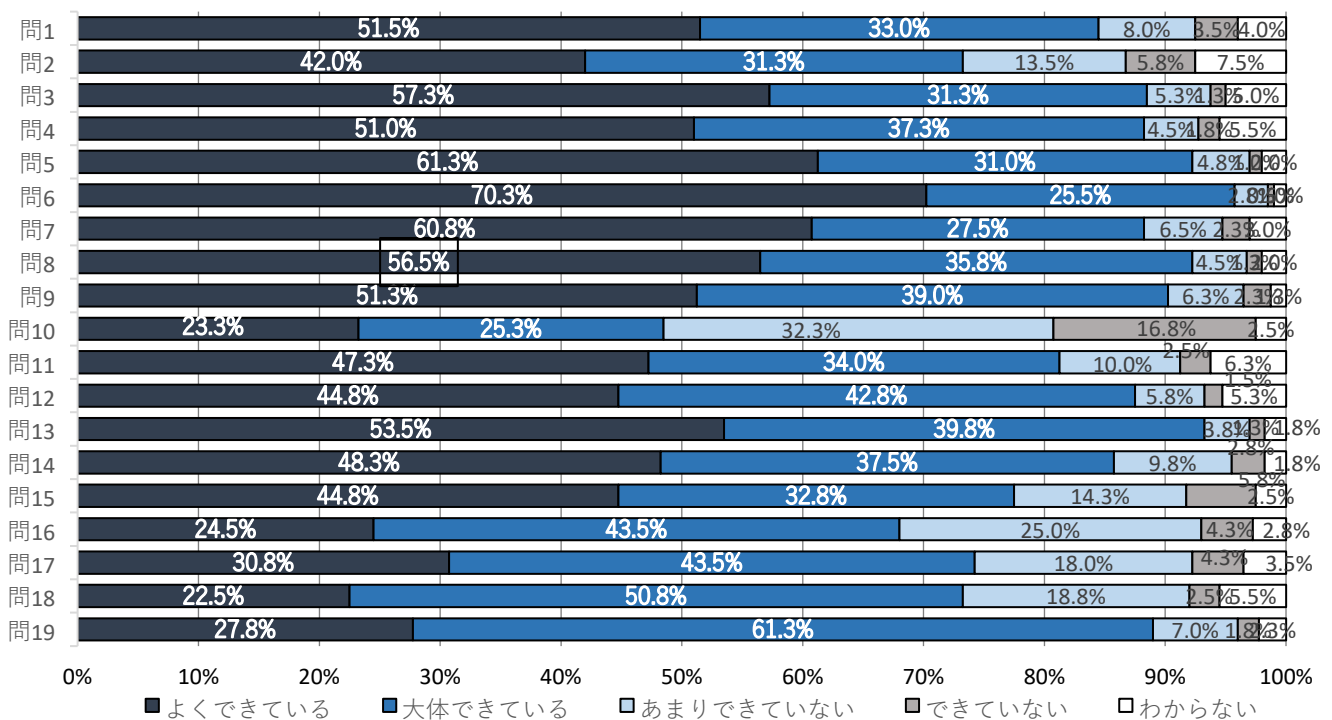


## ○「学校評価アンケート」 結果 (生徒)

- 問1 授業では、学習内容が理解できている。  
 問2 授業では、学習の見通しを立て取り組んでいる。  
 問3 授業では、考えを发表或し意見交換をしたりすることで、自分の考えを深めている。  
 問4 単元や毎時間の学習を振り返り、次の学習に生かそうとしている。  
 問5 ネット利用や時間のルールを守りながら、タブレットやパソコンなどのICT機器を活用している。  
 問6 私は、誰に対しても進んであいさつをしている。  
 問7 学校や社会のルールを守り、時と場に応じた行動をとっている。  
 問8 友達や家族などにやさしい言葉掛けや思いやりのある行動をしたり、困っている人を助けたりしている。  
 問9 通常学級と発達学級の交流学習や行事を通して、互いの良いところを見つけることができている。  
 問10 資源回収やボランティア活動に積極的に参加し、学校外の人とのかかわりを大切にしている。  
 問11 授業や生徒会活動、清掃活動等の開始時間を守り、最後まで集中して取り組んでいる。  
 問12 行事や体験活動の目的を理解して取り組み、意欲的に取り組んでいる。  
 問13 部活動や課外活動に目標を持って取り組み、自己の力を伸ばそうとしている。  
 問14 日々の健康や感染症対策に留意して生活している。  
 問15 防災学習や交通教室等を通して、自己の安全意識を高く持って生活している。  
 問16 先生は、学力が身につくようにわかりやすい授業をしている。  
 問17 先生は、生徒のがんばりを認めたり、困った時に助けたりしている。  
 問18 学習や生活などについて、教師に質問や相談をしやすい。  
 問19 教室は、安心して学習や生活ができる場所である。



コロナ禍で様々な制限のある中でも、生徒は学習や生徒会活動、行事等に高い意欲を持って取り組む様子や誰に対しても進んで挨拶ができている様子が読み取れます。授業も感染症対策を取りながら、交流活動や話し合い、タブレットの活用などを少しずつ進めています。一方で、見通しを持ち学習に向かうことが十分できていないとの回答割合が20%程あります。(問2) 年度当初に配付した学習の手引きや単元の振り返りカード等を活用し、教科を学ぶ意義を含め将来につながる学び方を示したり、主体的に学びに向かうための意識付けや学び方の見直しを図ったりする必要があることがわかりました。

問10では、昨年度に引き続き、コロナ禍で学校や外部のボランティア活動の機会が少なく、関心のある生徒も参加できないことがありました。その中でも、6・7組の生徒が昼休みに校舎周りの側溝の清掃に取り組んだり、資源回収週間には多くの生徒が新聞等を持参して協力したりする様子も見られました。また、八幡中では、通常学級と発達学級との交流学習をはじめ、「共生」を大切な柱としています。問8では、昨年度に比べ、「よくできている」の割合が約20%増加しました。現在、誰もが安心して生活できる環境づくりに向けて、生徒にも意見を提案してもらいながら、学校のルール作りを進めています。今後も、相互理解が更に深まるように、継続的な取り組みを行っていきます。

問16～19について、生徒の学習や生活について、教師側により細やかな対応が求められていることがわかりました。生徒と向き合う時間を増やすように行事予定を見直したり、教育相談の時間を設定したりし、生徒のニーズの正しい把握に努め、一人一人に声を掛けよさを認めながら、学級経営や授業の改善に生かしていきます。